

令和4年6月
第431号



5/14 公民館講座『自然観察会』



4/29 公民館講座 『モザイクタイル工作』

好きなタイルを選び、デザインを考え、
オリジナルの楽しい作品ができました。

おもな内容

- ・公民館講座『モザイクタイル工作』 p1～2
- ・あふれる情報,受け取り手の力が試される
 - ・・・p3～4
- ・公民館講座『自然観察会』
 - ・・・p5
- ・丸森だより
 - ・・・p6
- ・6月集まろう会
 - ・・・p7

『モザイクタイル工作』

なつかしいタイルの感触

足立 きみ子

『タイル工作』をやってみないかと誘われ、昔タイルで遊んでいたのがなつかしさを感じて参加しました。

講師の方から作り方を聞き、さっそく模様を考えながらタイル選びを始めました。並べるだけならすぐできると思っていたのですが、それは浅はかな考えでした。うまく土台の上に並べることも、色選びも、気に入ったようにできず悩んでしまいました。何年ぶりの工作に四苦八苦している時思いました。教える子達の中には、私のように困っていた子もいただろうなど。そんな時、講師からア

ドバイスをいただき、何とか作品を完成させることができました。

周りの皆さんの作品を見て、こんなやり方もあるのかと勉強になりました。また、普段何気に見ていたタイル作品を作った方々の、アイデアや技術のすばらしさに敬服いたしました。

トレーは、花瓶敷として使っています。



モザイクタイル工作に参加して

棚橋 理恵子

4月29日に公民館講座「モザイクタイル工作」に参加しました。

最初にタイルを選ぶチームとデザインを考えてトレーにマスキングテープを貼るチームにわかれて工作を開始しました。

長方形のトレーに六角形のタイルを並べていくのですが、なかなか思い通りに並べられず、試行錯誤して、最終的に

目地多めの花柄模様にしました。このデザインを考えている時間がとても楽しく、気が付いたら1時間経っていました。

デザインが決まったら、木工用ボンドでトレイにタイルを一つずつ貼り付けていきます。目地多めなので、バランスを見ながら慎重に貼っていきます。あまりたくさんボンドを付けると乾きにくくなるそうなので少しずつ慎重に。タイルを全部貼り終わったら、ドライヤーでボンドを乾燥させます。ぐらぐら動かなくなったら、次は固定したタイルの上から目地を押し込みます。タイルとタイルの間の小さな隙間にもしっかりと押し込みます。

最後にぬれたスポンジで全体をふき、目地をならします。マスキングテープをはがして、あとは家で乾くのを待つだけです。完全に乾くまでに気になる部分をティッシュで拭いたりしてきれいにし

て乾いたら完成です。

ゴールデンウィーク初日天気は雨でしたが、大人も子供もみんな楽しくタイル工作ができてとてもよかったです。



どんな色のタイルにしようかな？
迷っちゃうね。

令和4年度 地域懇談会

市長と語る会

みずなみの未来について一緒に考えてみませんか

日時：6月16日（木） 18時30分～20時

場所：大湫公民館 講堂

申込み：6月10日（金）までに申し込みをお願いします。

申込・問合せ先

大湫公民館 ☎63-2360

あふれる情報、

受け取り手の力が試される

希少種が見られる大湫の自然

5月下旬、ヒトツバタゴ（別名ナンジャモンジャ）は満開となる。この時期、大湫の自生地（神田区）では、スギの緑を背景に雪のように真っ白なヒトツバタゴの花が目飛び込んでくる。このナンジャモンジャは国内のほとんどどこにも自生（隔離分布）する。釜戸町など（犬山市・恵那市・中津川市）の自生地は国の天然記念物。

シデコブシも大湫で見られる。春、早くに咲く。このシデコブシも限られた地域にしか自生せず、該当する地域の人でなければ見る機会は少ない。

マルバノキ。ベニマンサクともいう。大湫には至る所にこのマルバノキがある。これも国内の自生地は限られており、絶滅が心配される植物でもある。

ヒトツバタゴ、マルバノキ、シデコブシのような希少種を普通に見ることが

できる地域の人には、至極当たり前の植物であり、大きな関心が払われることは無い。知識として珍しい植物だと知っていても特別感薄れている。

イチヨウやメタセコイヤ（旧大湫小学校校庭跡地にある）は、「生きている化石」。イチヨウは寺院の境内や街路樹として植えられていることも多く、またその実、ギンナンは食用にされる。黄葉（こうよう）の美しい木としてなじみがふかい。

メタセコイヤに至っては、その化石の発見から「すこし変わった（メタセコイヤ（現生しているセコイヤ）」として、三木茂博士（大阪市立大学）が1941年に新種として発表した。絶滅し、化石上の植物だと思われていた。ところが1946年に中国（湖北省）で自生していることがわかった。この自生種からアメリカを経由して日本にもたらされ、各地に植栽され広まった。現在は各地の公園や校庭で見られる。

限られた地域にしか自生していない

とか、「生きている化石」だとか、こうしたことは知らないことが多い。だが、知らなくても困らない。

知ることの重要性

昨年（2021年）の8月、北海道では100年に一度とされる干ばつ。統計開始以来の高温と小雨。タマネギの生産は激減した。これがタマネギの高値の理由だと聞く。

2022年5月14日、インド政府は小麦の輸出を禁止し、国内消費に回すという（NHK NEWS WEB）。世界的に小麦の価格が上昇していることを受けた措置である。ちなみに、インドは小麦の生産量が世界第2位なのだが・・・。

日本の食糧自給率は、低い。カロリーベースで、2019年度38%、2020年度は37%。生きていくのに必要なカロリーの大部分を輸入に頼っている



わけだ。

ちなみに重量ベースの食料自給率は、コメ97%、野菜79%、魚介類52%で比較的高い。しかし、牛肉と豚肉は35%と49%。半分以上だ。牛や豚のエサのほとんどが輸入。これを考慮すると牛肉が9%、豚肉が6%の自給率になるという。穀類では、小麦16%、大豆6%。いずれも農林水産省が発表している情報だ。

日本と同じ島国のイギリスでも65%、アメリカは132%だ（いずれもカロリーベース）。お金があれば輸入できる。いつでも食べ物は手に入る。だが、ひとたび気候変動により生産が減少すると事態は一変する。気候変動が地球規模で起き、世界的な生産の減少が起きることも想定外とは言えまい。政変によっても、生産や流通が変わる。ロシアのウクライナ侵攻による政情は小麦の流通を激変させ、前述のインドの輸出禁止になった。

「コロナ」が世界中にまん延し、物を運ぶ人が働けず、運ぶコンテナもうまく

回らなくなった。サプライチェーンが崩れた。これが物価上昇の一因だとか。

あふれるような情報の波のなかで、本当に知らなければならぬ情報がかき消されていく。

知ろうとする姿勢が無ければ情報が開示されていても意識に残らず素通りしていく。これだけ情報化が進みあふれるほどの情報が飛び交っていても、頭をかすめるだけの情報がなんと多いことだろう。

これらのことは、隠されているわけではない。情報を手にする側の問題だ。



隠される情報

一方で、情報が隠され、知らされないものもある。

今年、沖縄が本土復帰して50年を迎えた。復帰にあたり日米の密約があった。「核三原則（持たず・作らず・持ち込ませず）」により、日本には核爆弾は持ち

込ませないことになっている。だが、日本周辺で重大な事態が生じたときには、米軍が沖縄に核兵器を持ち込むことを合意したという。この密約を暴露した毎日新聞の記者がいた。彼は外務省職員に働きかけ機密文書を持ち出させたとして、国家公務員法違反で有罪判決を受けた。

政府は密約の存在を否定したが、2000年、密約を裏付けるアメリカ側の公文書が発見された。

時の権力者に都合の悪い情報は隠される。「特定秘密保護法」が成立（2014年）し、隠すことが正当化できた。

公然と隠へいする。資料があってもないといい。時には情報隠しの黒塗りになった「海苔弁」となる。公文書の改ざんさえする。すでに記憶から消えそうだが「森友・加計問題」だ。

私たちは限られた情報しか手に入らないのに、どう考えればよいのか。歴史に学び、想像をたくましくすることなのだろうと思う。

5/14公民館講座 『自然観察会』

5月14日『自然観察会』は9時30分から始まる。朝から雨が降っている。当日の午前中は雨から曇りに変わっていく予報で、前日に雨対応でプロジェクターとスクリーンを用意しておいた。

9時30分なんとか雨は止んだがまだあやしげな天気の為用意しておいたプロジェクターで葉っぱの話聞いてから外に出た。植物を教えてもらいながら寺坂を歩く、曇っていて五月の風がさわやかな、散歩をするにはとてもよい日になりました。

参加者に学生がほとんどいなかったのは残念でしたが、

『すごく楽しかった。また秋の違う植物の時にやってほしいな。』

『寺坂を少し歩いただけなのに、こんなにも多くの種類の植物があるなんてびっくりした。』

『木の上の方でしか咲いていないの

で見たこともなかった『桐』の花がいっぱい落ちていて、桐の花がこんな形をしているのにはびっくりです。』
歩いてみるといろいろな発見があり、楽しい自然観察会となりました。



自然観察会に参加してみて

大竹 顕久

植物を色々見て、色々教えていただき
ました。

今まで何も考える事無く草取りをし

たり、春は山菜取を喜んでしたりしている者もいます。

人はいろいろな形で自然とかかわっている。

植物には、一つの種類でも、花卉が沢山あるものとなないものもあり、また、動物よけの様なとげのあるものもあつたり、なかったりした。

そんな中で、陽がさんさんとあたる事が出来るように葉の付き方にも工夫がみられた。

一見、ただ生えているように見える植物であるのに、自然のものはよく考えて生きていると思った。

人も自然の一員と教えてもらった。

これから、野山を歩く時の考えが変わるような気がした。



桐の花ってこんな花なんだ！きれい！

丸森だより

令和4年5月20日

5月、6月丸森企画

●写真展 『大湫神明大杉 再生・復活の軌跡』【4/29～5/25】

倒木以前の雄姿に続き、令和2年7月11日の倒木被災。翌朝から開始された、大湫町民と瑞浪市内外の支援ボランティアによる復興再生活動は、1年と9か月に及びました。「再生大杉」として再び神明神社境内に鎮座したのは、令和4年3月27日でした。

復興に向けた奮闘の足跡を30点余りの写真から辿りました。〔撮影：小栗 和茂氏〕

●特別展示 『大湫宿元禄大火注進書』(瑞浪市指定文化財) 【～5/8】

●丸森常設展示Ⅱ 『大湫宿面高屋=水野家に伝わった軍盃(ぐんぱい)』【5/9～7/3】

大湫宿澤瀉屋(面高屋)=水野家に伝わった軍盃。

国民皆兵であった時代、兵役を終え無事故郷に帰還することは誰しも嬉しい事でした。出征前に送り出された地域やお世話になった方々に、無事除隊され帰ってきたという報告とお礼の意を込め宴を開き、記念品を配りました。その中でも多く作られたのが小さな盃(酒器)。

「征露凱旋記念」「歩兵第六連隊 満期記念」「満州派遣凱旋記念」「山東出兵記念」「支那事変記念」や、「水喜(水野喜一)」「水野忠義」などの水野家の人々、あるいは「則武」「小木曾」「今井」など、ゆかりの家名が入ったものが見られます。

大湫宿のその後の人々の生活を伝える、貴重な資料です。



●『竹細工の町並み再現』【6/4～ 7/3】

三戸憲和氏(神田区)による竹細工による宿場の町並みの再現模型を展示。

5月 大湫宿の行事・出来事

*19・20日 釜小 草取りボランティア

*22日 モニタリング調査

*29日 ピースロード 2022 神明神社出発式

5月 大湫宿と丸森の様子、訪問者

町 外		町 内		合 計	その内 (外国関係)
大人	幼小中高	大人	幼小中高		
352	8	78	4	442	0
R4,4月～	962	オープンから	41,574	R1 同月比	53.0%

◆「まん延防止等重点措置」が解除され、3回目のワクチン接種が終了した人たちの心もちよつと一息。大湫宿来訪者も急増かと思いきや。春先とはうって変わり小寒い日が続いたこともあり、コロナ前の半分。ゴールデンウィーク恒例の「鯉のぼり祭」や東濃各地の「陶器まつり」に人出がまわったか…。海外のお客様、ツアー客が回復していない現状ではやむを得ないか。

◆大湫宿を訪れる人々の目当ては、完成した再生大杉。車で来られて見物。ついでに宿内の散歩。「初めて来たけど知らなかったわ。こんな近くに、こんないい所があったんや。」
“大杉は倒れても大杉”。大湫宿の表看板。最大の観光資源です。

せらしお 6月の集まるう会 R4

大湫町コミュニティ推進
協議会集まるう会

☆太鼓は。。。6月4日と、6月18日 9時30分から
やります。18日は、太鼓の後、パターゴルフを予定してい
ます。

☆さつま芋の苗うえについて。。。6月中旬に3に
予定しています。みなさん集まって下さい。
苗うえをした後は、いつでも、唯れども、面倒を見てやって
下さい。今年は、ミルチを、かけないので、せせと草刈りをね。。。
△▽

☆先日のパターゴルフは、とても楽しかったね。ゴルフ会のみなさま、あり
がとうございました。



こいのぼりを折り紙でつくりました。
上手にきれいにできていますね。

郷土料理『キャラフキ』の作り方



- ・フキを取って来て、上の葉を取り除きます。
- ・食べる長さに切り、塩で何度も板摺をします。(ボールに入れて塩ずりをしてもいいです)
- ・水洗いをして水にさらし一晩おきます。
- ・水を切り、まず酒で煮ます。
- ・しょうゆ・砂糖・みりんでき好みの味付けをし、汁がなくなるまで煮ます。



フキは今は食べごろです。
美味しいキャラフキをいただきました。教えてもらい作って見ましたが、悲しいかな、なかなか自分ではこんなにおいしくできなかったです。また、挑戦してみます。

公民館イベント

ノルディック山の音楽会



ノルディックウォーキングをして大湫町内の高台で歌を歌いましょう。

日時： 6月5日(日) 雨天のときは延期します。

大湫公民館前に9時集合

コース： 公民館前⇄神明神社⇄ふれあいセンター⇄花の森⇄東屋⇄
アトリエ⇄記念碑⇄丸森

参加費： 無料

申込・問合せ 大湫公民館 ☎63-2360

ホタルを見よう

「大湫公民館」「集まろう会」「大湫野遊びの会」共催

日時: 6月19日(日) pm8:00~

雨天の時は 6月25日(土)

このす

場所: 神田・鴻ノ巣 (小栗和茂宅前の川筋)



梅雨時から夏にかけてみられる幻想的な光景、ホタルを見に行きませんか。雨上がりの夜は特に美しく、夏の訪れを感じさせてくれるはず。ひっそり光るホタルの美しさに、一人物思いにふけるのもよし。光の乱舞に酔いしれ、家族や友人と見れば、忘れられない夏の夜の思い出になるはず。

《行く前にチェック! 「新しい生活様式」のホタル観賞マナー》

- ・コロナウイルスとの付き合いは長丁場。3密を避け、隣で見ている人とも間隔をとろう。対面して大声では話さない。
- ・ホタルは敏感です。強い光も厳禁、懐中電灯にも赤いセロファンを貼ろう。車のハザードランプの点滅もマナー違反。
- ・触らない、捕まえない。生息エリアを汚さない。
- ・歩きやすい靴を履き、草むらには入らない。(サンダル・スリッパは禁止)

消防訓練・AEDの使い方の指導を受けてみませんか?

6月21日(火) 10:00~

公民館・丸森で、消防署から指導に来ていただきます。

- ・出火に伴う 通報・避難・消火訓練
- ・AEDの使い方の指導を受けます。

町民の方にも参加していただけると嬉しいです。

6月15日(水)までに申し込みをお願いします。

お問い合わせ、申し込み

大湫公民館 ☎ 63-2360



公民館講座『手作りパン教室』全4回

日時 : 6月7日・21日・7月5日・19日 13:30~
6月、7月の第1・第3火曜日

場所 : 大湫公民館調理室

受講料 : 500円(初回のみ必要)

材料費 : 毎回800円

定員 : 6名

持ち物 : エプロン、三角巾、持ち帰りの容器等

申込期限 : 6月3日(金)



申込・問合せ 大湫公民館 ☎63-2360

7月1日より旧ゴミ袋を差額分を支払い新ゴミ袋に交換します。大湫公民館で

旧可燃ごみ袋・・・令和4年6月収集日まで使用できます。

旧不燃ごみ・シール・・・令和5年3月収集日まで使用できます。

旧ゴミ袋を新しいゴミ袋に交換します。令和4年7月1日～令和5年3月31日

差額表

分類	種別	旧 1枚あたり(円)	新 1枚あたり(円)	差額(円)
可燃ごみ	大袋	37	46	9
可燃ごみ	小袋	22.5	26	3.5
不燃ごみ	大袋	43	46	3
不燃ごみ	小袋	25.8	26	0.2
不燃ごみ	シール	86	92	6

- ・ 1枚から交換できますが、未使用のものに限ります。
- ・ サイズの変更および違う分類・種別への変更には対応しません。
- ・ 交換は市窓口のみです。ごみ袋販売店舗では交換できません。
- ・ 計算した金額に1円未満の端数が生じた場合は、端数を切り捨てます。

計算例 可燃ごみ大袋 10枚、不燃ごみ小袋 8枚を交換した場合の差額計算
 $(9円 \times 10枚) + (0.2円 \times 8枚) = 91.6円 \Rightarrow \mathbf{91円(1円未満を切り捨て)}$

大湫公民館・大湫町コミュニティ推進協議会からのお知らせ

	<p>リ・アップ “ひよも” だより 《6月のひよもの活動》 『特殊詐欺防止講話』 日時：6月1日(水) 10:00~11:00頃 場所：大湫公民館講堂</p>
	<p>大湫宿お休み処 6月の営業日 5日・12日・19日・26日(日曜日) ※当日(お急ぎ)の予約は、丸森(☎0572-63-2455)へお願いします。</p>
	<p>ご招待券あります 1枚(2名様まで) (公民館にあります。利用される方は取りに来て下さい。) 企画展『趣向の器 のぞき』 日時：4月29日(金)~7月10日(日) 場所：瑞浪市陶磁資料館</p>
	<p>オススメ!! 大湫分室の本 『人生にキャンピングカーを』 GAKU-MC:著 A-Works:刊 窮屈な毎日から抜け出し、バン1台に必要なものを詰め込んで自由に生活する。キャンピングカーライフを写真と共に紹介。さあ、日本中を巡ろう。 4月の大湫分室 貸出人数：10人 貸出冊数：29冊 6月6日(月)~6月10日(金)は貸出できません。</p>
	<p>デマンド交通 4月利用者(大湫~日吉東部) 41便 延べ52名(稼働率34.2%)</p> <div style="border: 1px solid black; background-color: #fff9c4; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>皆さん、たくさん 利用して下さい。</p> </div>
	<p>青色回転灯防犯パトロール 6月のパトロール予定者 上旬：石田義人：奥村敏郎 下旬：北澤健次：渡辺貴憲</p>

区長日記

五月になってもコロナは一向に収束する様子を見せません、皆様は今まで通りの感染防止対策を実施し予防に努めて下さい。

五月十日にはおりベネットワークの撮影が町内で有りました。番組名は地元であそぼ!!デコボコ体験隊で六月四日から十日まで地デジ12chで放送されますので観て下さい。

旧JA大湫事務所の土地・建物については町に無償にて譲り受ける方向で進んでいます。建物の活用についてはこれから町民の皆さんの意見をお伺いして決めていきます。

町内裏道に於ける駐車場の確保についてはこれから地権者と交渉し、町で借り受け埋め立て整備を図って行きます。

六月十六日には市長と語る会が開催予定です、皆さんの参加をお願い致します

加藤

5月8日 パターゴルフ場草刈り作業

10日 おりべ撮影（町内・パターゴルフ場）

13日 定例区長会

15日 第一回青少年育成市民会議

釜小・北中廃品回収

18日 釜戸小学校グラウンド草取り

19日 釜戸小学校グラウンド草取り

22日 モニタリング調査

花の森遊歩道草刈り作業

28日 交通安全協会釜戸・大湫分会定期総会

29日 ピースロード出発式（神明神社）



令和四年六月行事予定

日	曜	予	定
日	曜		
一	水	リ・アップ「ひよも」	
二	木		
三	金	定例区長・幹事会	
四	土	大湫太鼓	
五	日	公民館イベント「ノルディック山の音楽会」	
六	月	財産区全員会議	
七	火	民生委員会議 公民館講座「手作りパン教室」 社会福祉協議会会議	
九	木	公民館講座「親子リトミック」	
十二	日	夏季奉仕作業 瑞浪市主張大会	
一五	水	青少年育成町民会議	
一六	木	市長と語る会	
一八	土	大湫太鼓	
一九	日	ホタルを見よう	
二一	火	公民館講座「手作りパン教室」 消防訓練	
二三	木	公民館講座「親子リトミック」	
二六	日	モニタリング調査	
二九	水	広報委員会	
三〇	木	連合自治会	

6月3日(金)9:30~12:00
お休み処で、100円コーヒー出します。
皆さん来てください。雨天中止です。



不燃ごみ：6/7(火) 資源ごみ：6/22(水)

日本が生んだ究極のエクササイズ

ラジオ体操を一緒にしましょう！

場所：公民館前(雨の日は講堂)

日時：平日毎日 8時20分頃ラジオ体操の音楽を流します。

誰でも参加自由です。

いつも動かさない場所を動かし

みんな楽しく体操しましょう。



編集後記

久しぶりに知合いのお宅へ伺った。

玄関に入ると土間があり、テーブルと椅子がある。上にツバメが巣をかけていた。卵からかえった小さなヒナが2羽見えた。「戸を開けておかないと親が入ってこられないね」と言うと、留守にするときは、玄関の引き戸を少し開けてそこに木の板をはめる、板の上はツバメが行き来できるように少し開けてあるそうだ。

ツバメは『ウエルカム』だと言われた。

なんて心の広い人だろう。

編集発行：大湫町コミュニティ推進協議会 広報委員会
令和4年 6月1日 瑞浪市大湫町 422-1 TEL0572(63)2360
<http://okute-shuku.jp>